夕刊
いわき民報

発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人　田原登

團長問題表面化
後任に山崎氏が話題に
出初式遂に取止め

平市消防団長問題は永らくクスぶつていたが旧臘十八日の新年出初式をきめる分団長会議を契機に再び燃焼し始め、第二、第三分団では松本団長きゝのもとに行う出初式（一月六日）は面白くないと従来のゆきがゝりを固持、俄然複雑な問題を投じたが松本団長は消防団の円滑な運営を願う立場から第三者の手を通じて事の解決を期するため強口市会議員に一任、市当局では金古市会議長、山田艦鷹氏に事態收拾策をそれぞ一任、結局第三者間の打合せの結果、内木宗八氏に代つて一さいを白紙に返し山崎公安委員長の婿山崎忠兵衛氏を後任団長にすべく交渉、一応了解を得た、松本現団長はこの斡旋案に対し附帯条件として齋藤第二副分団長、山崎第二副部長、若松第二分団副部長の三名は団の統制上面白からぬ者として整理することを第三者に申入れており、これは第三者間で既に解決、三者の辞表を得ているので目下平市地下採掘問題で宇部、九州地方を視察中の強口議員が帰平次第解決する方向にむかつているので二カ年間に亘つた消防団長のくすぶりもやつと終そくする段階にいたつた

第二、第三分団員の大部分は現松本団長のき下のもとに行う出初式には反対だと六日午前九時半から市公会堂に行つた出初式には第一、第二、第三の全員顔をみせず第一分団が行う予定だつた梯のぼりも取り止めとなり公会堂で優良団員の表彰式だけ行つた

市当局談　団長問題は永らくくすぶつていたがやつと第三者を通じ山崎忠兵衛氏に決まりそうなので何んとか解決すると思つている、旧市内分団の中には現団長のもとに行う出初式には反対との声もあるが内木氏はこんなさわぎの中にあつて後任を引受けてくれるものとは思わない

山崎氏なら大丈夫だろう

松本団長　私は市消防団の円滑な運営を考えていた、第二、第三分団が梯のぼりをしないということを聴いているが困つたことだ、私は山崎氏が後任団長としてやつてくれることに就いて反対だ賛成だとは云えない、たゞ円満に解決されることをのぞんでいる、この問題は第三者に一任しているのでまかせておく

山田艦鷹氏談　第三者として金古議長、強口議員と私の三人がそれぞ相談したが何んとか円満に解決される見透しがついた

齋藤分團長らは優良團員

松本団長が第三者に一任して現団長のポストをさるに当つてその附帯条件として齋藤第二副分団長ら三名の整理を強硬に主張したのは三者が永らく内木宗八氏を団長に推選する提唱者で現団長間との折合が悪く去る十月の防火デーに松本団長が挨拶を述べようとしたところ前記三名が何故に吾々三名を整理するのかその態度を釈明せよと詰めかけ一波瀾を惹起したことが原因になつている様である、松本団長は火防デーの前日、市長、金古議長に対しての三名は団の円滑な運営を阻害するものとしてその整理を話していたものだが、後三名はしばゝ表彰を受けている優良団員である

優良團員を表彰

平市消防団の表彰式は六日午前十時から市公会堂に開催、諸橋市長松本団長らの挨拶について次の優良者の表彰が行われた

【本期精勤者】◎第一分団　鈴木勇次郎班長ら十二名
◎第二分団　会田晴明班長ら十四名
◎第三分団　渡辺豊団員ら十三名
◎第五分団　松崎幸一団員ら十一名
◎第六分団　伊藤惣吉団員ら十四名
◎第七分団　菅波豊班長ら十三名
【永年勤続者】◎本団　二十五年石坂一卜部久吉（副班長）十五年
◎第一分団　二十五年　海老原章雄（分団長）〃近藤勝一四郎（部長）
◎第二分団　二十年会田晴明（班長）二十年岡島和助　十年佐藤孫
◎第三分団　十年山崎義照
◎第五分団　二十年鈴木喜平（副部長）〃小野克美、戸田元善　十五年　鈴木健司、大山寿茂、金成武美、相田豊一（班長）大平芳一（副班長）十年　齋藤正、佐藤楢六
◎第六分団　二十五年　村田与一（副班長）鈴木登　二十年　山崎喜平治、志賀光孝、村田友明、小林武光、北郷正二郎、十五年　水竹栄一、佐藤吉貞、大河原喜男、阿部路弥、阿部勝一、山崎吉守、阿部重雄、十年　遠藤喜八郎、江尻政秀、鶴沼芳政、志賀丞太郎、森山吉一、箱崎守
◎第七分団　二十年　渡辺競（副班長）国友正一、佐藤勝作、荒川惣吉、鈴木与市右工門、西山豊太郎（副班長）西山渉、木村正男、片畑徳、新妻文夫、国井金一郎、鈴木吉一、箱崎寿重、十五年　木村清（副班長）久野美喜男、佐川甚栄、菊地武夫、西郡三郎、荒川忠男、森園美、佐藤都広、十年佐川得寿（副班長）樋口次作、西郡金治、中野正一、石井銀一、勝倉荘次郎、鈴木定政
【退団者】三十一年　小菅栄三郎（副団長）十一年　折之内太一、吉野登、八年　野矢安孝（副班長）二十一年、江尻正光（班長）

小名の出初式
舊正で行う

小名浜町消防隊、同消防団の出初式は恒例六日に挙行してきたが本月末最新型消防ポンプ一台が購入到着する予定なので本年は特に旧正月に行うことをこのほど申合せた

天気予報（六日）

【今晩】北西の風やゝ強く晴の天気
【明日】北西の風日中やゝ強くよい天気ですが寒が拡がるでしょう、海上は今晩、明日とも北西の風やゝ強く風波は高い方ですから漁船は注意を要します

失對事業所生る
初代所長に但野技師任命

石城地方臨時失業対策事業所が去る一日から発足した、事務所は当分の間平市堂の前元平職安所労務課跡で初代所長は平戦災復興事務所技師但野武義氏（三）が任命された、従来県の出先機関で取扱つていた失対事業を統一し更に厚生物資などの配給にも当るもので労働者の就労紹介や賃金支給は従来通り平職安所が取扱う、職員は凡そ二十五名で関係労務者は約二千名

（寫真は但野所長）

更生相談所
内郷町で開設

内郷町では来る二十五日午前十時から午後三時まで役場会議室に更生相談所を開設し身体障害者福祉法、児童福祉法、生活保護法など福祉三法に関連する諸問題の生活相談に応ずることになつた、同相談所は毎月二十五日に開設し生活医療、障害年金、施設、入所、障害者補装具更生医療、児童相談、未亡人福祉関係など一切の相談に応ずる

わが家の逸品

國定忠治の半纏
湯本の石井さん所蔵

一昨年の暮に名も告げず『日雇労務者の餅代に』と五千円をポンと投げ出し明るい話題を投げた湯本町の篤徳者パチンコ機械販売業かおる主人こと石井薫司氏（四四）は映画お芝居、或は赤城の子守唄などで有名な侠児国定忠治が着ていたという半纏を持つている、年代がたつてぼろぼろになつているが植物の汁液で染めた緑の色が未だあせず、鄙の羽が無数に織りこまれ美しい斑模様をなしている、石井氏は背にこの半纏引つかけながら『この半纏は新潟県新津にいたころ骨董屋をしていた伯父の石井栄吉さん（六七）から形見として貰つたもので、忠治が赤城山や田部井によつて賭博争斗、殺傷をほしいまゝにした揚句目明しに追われて信州或は奥州に流浪の旅をしていたころ、たまたま越後路に入り長岡村と三条市の間にある大崎村の茶屋に休み世話になつた時心ばかりのお礼にと置いて行つたもので、天保のころだから百年以上にはなつているものだろう』と語りわが家の逸品として保存している

謹賀新年
草野村役場
村長　坂本惣次郎

謹賀新年
好間村役場
村長　鈴木榮一
夏井村役場
村長　青木半次郎
四倉町役場
町長　花沢乙丸
タムラ運動具店
平市才槌小路　電五三八
草野村消防團
団長　佐久間忠一
四倉町消防團
団長　新妻常吉
みふみや
平市田町並木通　電三二三

片倉工業株式會社
平製糸所
所長　中村芳平

磐城貨物自動車株式會社
平營業所
所長　志賀子之松

電力制限強化についてお願

愈々本格的な渇水期となり電力事情も悪化の一途をたどつて居りますので従来水曜日一回のみ行つてきました運休日を当分の間月曜、水曜の週二回とするほか深夜停電を左記の通り行うことになりましたので事情御賢察の上節電につき何分の御協力をお願申上げます

記
一、週休　週二回（月曜　水曜）
停電時間（午前七時三十分より午後四時まで）
二、深夜停電　毎日一時間づつ二回
停電時間（午前零時より午前六時までの間に於て輪番停電する）

以上

昭和廿八年一月六日
御需用家各位
東北電力・平營業所

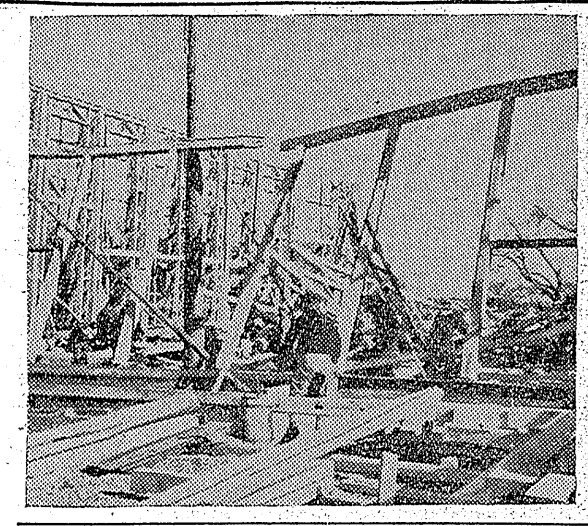
日刊（除月曜）1カ月金100円郵送126円（週2回四頁建）定価一部（二頁）3円（四頁）6円　（第三種郵便物認可）　いわき民報　夕刊　昭和28年1月7日（水曜日）第2035号

磐高體育館倒壞

作業中の大工ら三名負傷

きょう強風に煽られ

大日午前十時四十分ごろ平市高月台県立磐城高校（校長野々山三郎氏）の新築中の体育館（三百坪）が折からの強風で倒壞、作業中の平市佃町磐城土建KK（社長強口唯七郎氏）大工職菜花孝雄さん(三三)＝久之浜町末続＝は木材の下敷となり頭部に三針を要する重傷で同じく近藤三三雄さん(三三)＝内郷町宮沢＝は各一週間、同高田利雄さん(三二)＝平市下平窪＝両名は頭部、足等に全治三日間の打撲傷を負った同体育館は常磐炭鉱の寄附により磐城土建の請負いで昨年十二月一日着工したものですでに棟上げを終え七分通り完成、本月末頃には完成する予定だった、現場には大工、土工など十五名が就労していたが倒壞寸前にいち早く逃げたので大事に至らず難を免がれた、倒壞原因は柱や梁を釣っていた十番鋼線（直径五ミリ）が風で切断されたもの、被害は凡そ百万円



復興を期す

請負者語る

同工事責任者強口金七郎氏談＝今朝小名浜測候所へ問い合せたところ風速十七米位だろうというので就労させた、怪我人が少くて済んだのが不幸中の幸だ、徹夜をしても予定日までには完成させたい（寫真は倒壞した磐高体育館）

電柱各地に倒れ停電

大日午前九時半ごろから石城地方一帯に強風が吹い各地で電柱が倒れ電線断線が起き混乱に陥入った神谷県園芸原種農場の観測によると正午現在風速毎秒十米乃至十二米で被害の状況は平市鎌田地内、湯本町地内で電柱二本が倒れ午前十一時十分ごろから一般線及確保線などが停電した、復旧の見込みは未定

乳房で窒息死

小名浜町上町七七宮内大次郎さん長女悦子ちゃん（生後四カ月）は大日午前三時ごろ母親のサイ子さん(三)と添寝中乳房で窒息死した

年少者使用

書類を送検

平労基磐では六日赤井村赤井字常住新町粘土採掘業今田功(三)を労基法違反容疑で書類送検した、今田は昨年八月二十八日から十一月十七日迄の延四十八日間、同村西小川字横道地内の今田粘土坑に赤井村赤井字浅口吉田正治(七)を後山夫として入坑させ坑内労働に使

鐵道運賃上る

來る十五日から實施

国鉄の旅客、荷物の運賃改正は愈々来る十五日から実施する、改正によると運賃は従来より平均一割高の値上りを示し定期は学生、通勤のほかに一般も個々に購入出来ることになっている、なお列車内への手持ち品制限は一般乗車券、普通定期は二〇㌔（二個）通勤、通学は一〇㌔（一個）となる、平駅を中心とした各駅の新運賃は次の通りである（カッコ内は一カ月分定期料金で上は学生、下は通勤者料金単位は円）

綴一〇（一六〇、二七〇）湯本一〇（二二〇、三六〇）泉三〇（三五〇、六三〇）植田五〇（三九〇、七二〇）勿来六〇（四一〇、七四〇）—草野一〇（一八〇、二九〇）四倉二〇（二七〇、四八〇）久之浜三〇（三五〇、六三〇）—赤井一〇（一六〇、二七〇）小川郷二〇（二九〇、五二〇）

阿部貞太郎氏

醫學博士に

平市四丁目雑貨商阿部唯次郎さんの長男貞太郎氏(三)はこの程『百日咳菌の力源代謝』の博士論文を学界に提出中の処パスし医学博士となった。同氏は磐中、二高東大を経て現在東京大学伝染病研究所附属病院に勤務中のものでほかに百日咳の化学療法『リゾチール』ほか六つの論文を発表、日本医学界に貢献して居り現在『狂犬病並に狂犬病後マヒの生化学の研究』と題する論文を作製中で将来を嘱望されている

運轉合格者

小名浜地区署では先月施行した自動車運転免許試験合格者をこの程次の通り発表した、百二十五名受験のうち四十八名合格、三十九・二パーセントの合格率

版畫入選者

版画コンクール東北予選会はこのほど仙台郵政局で開催じたが石城郡の入選者は左の通りで此入選品は一月上旬東京三越に於て催される全国大会に出品される

▼佳作いちご（勿来町大平方穴）同平第一中菅野勤、織田幸江、渡辺章（風景）いちご勿来中一年高木弘子二年大平阜夫（カレンダー）▼小学校の部第三位勿来第一小五年大平剛（コケシ人形）平第二小二年三組渡辺正勝（獅子）

湯本青果組

八日に總會

湯本町青果物組合総会は八日午後一時から公民館金鶏室に開き役員改選並びに運営方針などにつき協議する

内郷署管内の交通違反

廿七年中

内郷地区署では二十七年中の道路交通違反件数の調査を行っていたがこのほどまとまった、送致一八五、説諭一八一八、注意二三九〇運転者免許証記載八一、警告書交付九七計四五七一件の多数にのぼり交通事故は四二件となっているそのうち死者二名で二九名が負傷であり地区ごとには御厩一二、堀坂二一、七反田六、小島六、白水二、宮三、大橋正二となっている

釜戸川工事

請負者決る

渡辺村釜戸川の災害堤防工事の公入札はこのほど植田土木監督所で行った結果左の通り落札契約した

左岸築堤（三一六米）右岸〃（二三六米）

三三七万円で錦町高木好樂氏、同ヵ所築堤延長二六四米二七〇万円で湯本町渡辺長作氏、何れも三月末日まで施工する

（7日）

廣告係は思案に暮れています

この広告は毎日捻った文章で新鮮なイキをねらってきましたが、あべこべにイキが切れることも度々です。で広くこの文案を募集致しまして本当に皆様に好かれる広告を作りたいと思います なるべくこの形を用いること改正する場合もありますが採用で一篇に金百円贈呈

越 小名浜 平市

藤越

新年謹賀

平公共職業安定所 所長 佐藤忠雄

福島縣勞働金庫 平支所 平市堂前一九電一四六四

稲田訓、大久保留吉、鈴木宣夫、田中八郎、内田平八、鈴木一、小林重孝、渡部広、柳内晃光、高岡孝康、渡辺進、岡部嘉男、及川貞三、松原慶一、大沢英郎、鈴木正勝、神野祐之助、小名木員男、佐伯千里、嘉勝稔、稲嶋昭之、江尻三睦郎、加藤勝郎、関正治、吉高神啓介、安島幸雄、大橋英雄、大橋豊之助、四家直三、鈴木俊元、小野効平、弓野伝、小沢善喜、軍司信雄、鈴木敏男、丹野吉平、志賀三代男、雪吉恒雄、水口直治、吉田四郎、吉田正郎、高木信次、常松一吉、樋田八郎、高村伝、佐藤鉄男、河野稔、渡部喜作

平市藝妓屋組合

山形家 電一二七
竹むら船 電六三二
浦船 電七七二
梅本 電一〇五三
巳家 電一〇五二
辰巳 電一二九一
鈴屋 電三二一
津多屋 電一一一六
東家 電一〇五三
桐の家 電一九三
千代の栄 電三三五
福家 電六六八
夢の蔦家 電一三九九
花ふく 電一三九二（呼）
大国文 電六六〇

平市料理店組合

谷口 電八
越乃家 八千代 電三七五
松本楼 電八八九 金みよし 電四一九
玉よし 電一一三 田毎 電六三一
月の家 電八八八 梅林 電一三〇
石川亭 電三〇四 宝来亭 電三三二
春の家 電四三 かすみ 電四六三
福元 電三一〇 魚栄 電一一六
初音 電六四五 ときわ 電一二六
三益 電三一〇 松とみ 電二四七
山茶荘 電五二〇 たに川 電九六五

謹賀新年

茂木カメラが贈る

漸新な企畫を御期待下さい

平料藝組合
組合長 鈴木信雄
副組合長 井戸川安信
〃 大久保一

丸高商店 平市二丁目電六四九
三馬弘進ゴム
羽生民族ゴム
アキヤマゴム
山ゴム
代理店

金成源右衛門
石城郡連PTA副会長
菊多地区連PTA会長
錦小学校PTA会長

日星製作所 所長 中崎馨 小名浜町林ノ上 電二五六・二五七番
最新流行の和洋家具 御婚礼調度品特価提供 磐南家具協組賣店 勿来町窪田 電八番

小名濱町 医師団 名杏會
国家警察 小名浜地区警管内 連合保健組合
江戸前寿司 蒲焼 仕出し 金時 小名浜駅前 電一二八番
小名濱歯科醫師班
小名濱纖維商組合
赤津タクシー 赤津政広 小名浜町古滝 電一六番
磐城通運株式會社小名濱營業所 所長 野口源太郎
小名濱町農業協同組合 組合長 長瀬誠明
江名町 機船底曳網組合長 小松敬次郎 組合員 職員一同 漁業協同組合